

松井くにひと通信

Vol.3

発行:平成30年5月
松井くにひと後援会
 〒930-0916
 富山市向新庄町三丁目3番7号
 TEL・FAX (076)451-1261

3/10

新庄さくら北・キッズ(学童保育施設)竣工式



希望者の増加にともない、新庄さくら北・キッズが新設されました。

木のぬくもり溢れる施設で、とてもやさしい空間でした。

共働き家庭や母子・父子家庭にとっては、子どもたちの放課後を過ごす場所が大きな悩みで、働くことと子育ての両立を考えると心強いです。「社会福祉法人わかき福社会」さんには感謝です。



皆さま方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

おかげ様で市議会議員になってあっという間に一年が経ちましたが、議会での一般質問や委員会質問を始め、多くのイベントに参加させていただくことにより、改めてひと・家族・地域の重要性を感じております。

また、今年も昨年に引き続き厚生委員会と議会報編集委員会に所属いたします。

初心を忘れず、次世代に安心して安全な富山市を引き継ぐために、一生懸命に取り組んでまいりますので、今後とも皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げます。



1/7

新庄地域成人式が148名が参加されました



新庄小学校分離前の卒業生142名を含む148名が参加されました。

新成人の方々には地域の未来に向けて頑張っていたいだきたいと思っています。



あしがるサッカー富山創立20周年祝賀会



あしがるサッカー富山は60歳以上の方々のクラブで、私にとってサッカーが生涯スポーツだということを教えてくれたチームです。

今年富山開催のねんりんピックでの優勝目指して頑張ってください！

11/26

源杯 小学2・3年生6人制サッカー大会



サッカー大会の予選を運営側(富山市サッカー協会)として参加しました。

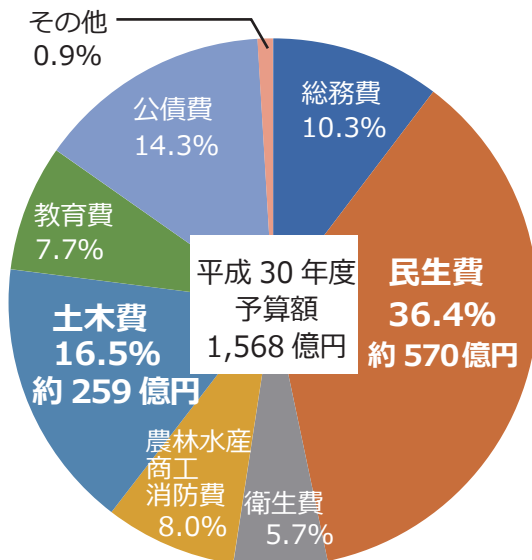
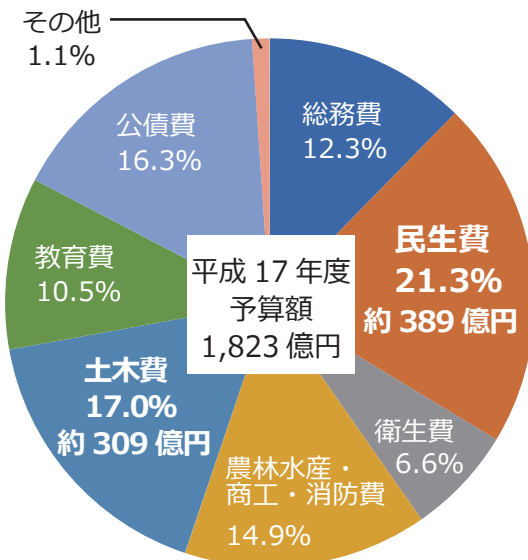
子どもたちの試合に臨む姿はいつ見てもいいものです！

12月3日(日)には決勝トーナメントがあるので、各チームが優勝目指して熱戦が繰り広げられるのを楽しみにしています。

ひと
 家族
 地域が
 輝くとやまに

富山市一般会計予算の歳出比率の比較について

～平成17年度（合併時）と平成30年度との比較～



- 総務費** 庁舎管理、交通安全対策、スポーツ振興、選挙などの経費
- 民生費** 障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護などの経費
- 衛生費** 各種健診、予防接種、環境保全、ごみ処理、リサイクル推進などの経費
- 農林水産・商工・消防費** 農業振興、土地改良事業、商工業振興、産業振興、観光事業、消防活動などの経費
- 土木費** 道路・公園・河川・市営住宅などの整備や維持補修、富山駅周辺整備や土地区画整理などの市街地整備などの経費
- 教育費** 学校教育、生涯学習、学校給食、教育施設の整備や維持補修などの経費
- 公債費** 地方債を返済する元利償還金などの経費
- その他**

一般会計予算とは、福祉や教育、道路整備、ゴミ処理など地方公共団体が行う基本的な事業会計です。平成30年度歳出では、子育て支援や高齢者・障害者福祉などの民生費が最も大きく占め、次に多いのが駅周辺整備や市街地再開発、公園・道路整備などの土木費です。

合併時との比較では、全体予算額で255億円も減少しているにもかかわらず、民生費は180億円も増加しています。それに対して土木費は50億円も減っています。

このことは少子高齢化の影響で、住民福祉を支えるための扶助費が増大する反面、社会資本整備のための投資的経費が減少していることを意味します。

厳しい財政状況ですが、『ひと・家族・地域』が将来に希望を持てる富山市になるよう取り組んで参ります。

議会活動

富山市議会のホームページ(会議録などの公開)で議事録など公開しています。ご興味のある方はご覧くださいね！

平成29年12月定例会 一般質問

- ・横断歩道橋のあり方
- ・小中学校に対する避難訓練のあり方

Q 通学路に指定されている横断歩道橋について、撤去・存続などの方向性を小中学校などと議論していくべきではないか。

A 平成4年設置の八尾駅横断歩道橋を除く全てのものについて通行量調査を行った。市が管理するもので撤去・存続を検討する必要がある場合には、撤去した場合の影響や景観などを考慮し、地元や小中学校等と事前に協議していく。また、国や県が管理するものについては調査結果の情報提供を行う予定であり、各管理者の判断に基づき本市と同様に地元の関係者と協議がなされるものと考えている。(市長)

平成30年3月定例会 一般質問

- ・少子・超高齢社会における支援体制
- ・妊婦歯科健診・歯周疾患検診

Q 超高齢社会を迎えるにあたり、ゴミ出し支援対策について検討が必要になると考えるが、見解は。

A 高齢単独世帯のうち要介護認定も受けている世帯数は、平成30年1月末現在9,574世帯である。ゴミ出し支援対策については、対象世帯の自宅前までゴミ収集に伺うことを検討したが、対象世帯の実態把握が難しい等の課題があり実施に至らなかった。今後、ゴミ出し困難世帯の増加が予想されることから、他都市の事例も参考にしながら本市に適した支援対策を検討していきたい。(福祉保健部長、環境部長)